

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2016年度(前期)指定公募

「地域包括ケアを目的とした在宅医療推進のための多職種研修会への助成」

完了報告書

テーマ

- ① 「第 48 回定例会:腹の見える関係づくり」
- ② 「第 49 回定例会:伊達の地域包括ケアはどうなったのか」
- ③ 「第 50 回定例会:超高齢社会・限界都市の地域を活性化する取り組み Part1」
- ④ 「第 51 回定例会:超高齢社会・限界都市の地域を活性化する取り組み Part2」

申請者	草場 鉄周
所属機関	西いぶり在宅ケア連絡会
役職	会長
所在地	北海道室蘭市本輪西町3丁目36番9号
電話	0143-50-6287
提出日	2017年1月

①「第 48 回定例会：腹の見える関係づくり」

【日時】平成 28 年 8 月 21 日(日)14:00～17:00

【場所】ホテルサンルート室蘭

【参加者数】

26名

【概要】

1)目的

日頃の業務や定例会のような研修会などを通じ「顔の見える関係」にはなっている。いつもと少し違った視点、『ひと・ばしょ・もの・ちいき』、『組織に入っている自分、ひとりではできないビジョン』というもののキーワードとし、今までにない価値観を話し合い、改めて腹の見える関係を作る。

2)定例会テーマ

ワールドカフェ

「腹の見える関係づくり」～お互いの「愛しのはんかくさい」価値観を話し合おう～

3)タイムライン

14:00～14:30 名刺交換

14:30～15:00「ぶれない、惑わない自分の人生～価値観」本輪西ファミリークリニック院長草場
鉄周先生

15:00～15:15 会場ディスカッション

15:15～15:40 シンポジウム

15:40～16:10 ワールドカフェ

16:10～16:55 会場ディスカッション

16:55～17:00 振り返り草場先生コメント

16:45～17:00 全 3 回の振り返り

17:00 アンケート記載閉会

4)定例会報告 まとめ

前月までの3回の定例会では、組織の中の自分がどういう立ち位置なのか、人と協働していく為に何が必要なのかを考え模索できる人財になる為に、組織の中の自分を見つめ、役割を考えていく「組織論」を学んだ。日頃の業務や定例会の様な研修会などを通じ「顔の見える関係」になっているが、今回はいつもと少し違った視点で『ひと・ばしょ・もの・ちいき』、『組織に入っている自分、ひとりではできないビジョン』というもののキーワードとし、今までにない価値観を話し合い、改めて腹の見える関係を作るという事をテーマに、自分の価値観、仕事をする上でのこだわりを「愛しのはんかくさい事」として研修会を開催した。

本輪西ファミリークリニック院長草場鉄周先生から「ぶれない、惑わない自分の人生～価値観」

というテーマで講演を頂いた。草場先生のルーツや仕事をしている上での価値観を聞き、参加者からは初めて聞く話に「へえ～」という声が上がっていた。

次にグループで自分の価値観について話し合ってもらった。いつも顔は合わせているが、その人の価値観について話を聞く機会が無い為、お互いに顔だけでは無く、少し腹も見える関係になれたのでは無いかと感じる。

最後に一人ずつ自分の「愛しのはんかくさい」について語っていただいたが、みなさんの「実は～」との話に各々の腹が少し見えた気がして、この地域は今後も連携が上手くいくというだろうという確信が持てた。

5) アンケート結果

アンケートの結果については「連絡会の形式が新鮮だった。」「とても楽しかった」など回答があったが、「いつものメンバーなので新しい関係はできない」との意見もあり、今回集まった参加者は、いつも参加している方が多かった為、より関係が深まった一方、新しい関係は特に生まれなかった一面があると思われる。

②「第 49 回定例会：伊達の地域包括ケアはどうなったのか」

【日時】平成 28 年 9 月 26 日(月)18:30～20:30

【場所】だて歴史の杜カルチャーセンター 2F 視聴覚室

【参加者数】

70 名

【概要】

1) 目的

地域包括ケアシステム構築の為に、現在伊達市では行政も入り会議を行っている。今後さらなる構築へ向けての情報や意見交換と、連携、自身のスキルアップの為に各々がどのような取り組みをしているか、また、今後どのような取り組みが必要となるかを持ち帰ってもらう。

2) 定例会テーマ

「伊達の地域包括ケアはその後どうなったか？」

3) タイムライン

18:30～開会・連絡会説明 参加者自己紹介

18:50～事例・課題情報共有(聖ヶ丘サテライトクリニック院長 岡本先生 伊達市役所 保健師 横山さん)

19:30～グループワーク

20:05～ 共有・まとめ、アンケート意見回収 次回告知

20:30 閉会

4) 定例会報告 まとめ

グループワークでの議論 まとめ

ワーク I

「よりよい連携を実現する為にどんな工夫をしていますか？また、どんな工夫が可能でしょうか？」

・カンファレンスが重要。カンファレンスを開き情報 意識の共有、顔の見える関係性を作る。やはり介護と医療の間に壁を感じている人もいるので、カンファレンスを開く事により壁を失くして行く事も必要。

・リーダー的役割の職種の負担が大きくなる。その為、お互いの職種の理解が必要。理解を深める事により、連携が深まる。

・相談室、連携室(sw等)を窓口とし介護・医療のハードルを下げる。

・ホウ・レン・ソウとミーティング

ワーク II

「連絡会等で学んだ内容をどのように職場内で共有し、スキルアップに活かしていますか？」

・職場内で毎日の情報共有の時間をしっかりと取る。ケース内容や研修で受けた事を周りに落とし込み、全体でのスキルアップを計っている。

・連絡会等の研修は事業所にて誰かは出るようにして、内容を職場内にて落とし込んでいる。

・連絡会以外でもそれぞれの職場にて研修等があり、参加し個々のスキルアップを計っている。

5) アンケート結果 参加人数 70 名

・発見が見つかり来てよかった。

・漠然としたテーマだったが、形や予想図等が見えてきた。岡本先生・横山さんの講演がとても分かり易く、来て良かった。他の職種、他の地域の人と意見交換が出来て貴重な時間が過ごせた。

・初めて来て緊張もあったけど、とても参考になったので次回も参加したい。

・終わってみたら時間が短かった。

・西いぶりの現状をもっと聞きたかった。医療・介護共に共感できる内容で良かった

・伊達市の現状を知れて良かった。他の自治体での取り組みに関しても学びたい。等

【総括】

前回同様、伊達市開催にて多数の参加があり、また他職種の方々が参加された。

「時間が短かった」「他職種の方の意見を聞いて良かった」「岡本先生や横山さんの講演が分か

り易くてよかった」等のありがたい意見が聞けた。また次回の伊達開催へ期待の持てる内容だったと思われる。

③・④「第 50 回定例会：超高齢社会・限界都市の地域を活性化する取り組み Part1」

「第 51 回定例会：超高齢社会・限界都市の地域を活性化する取り組み Part2」

【日時】 平成 28 年 11 月 21 日(月)18:30～20:30

平成 28 年 12 月 19 日(月)18:30～20:30

【場所】 むろらん広域センタービル 3 階 A・B 会議室

【参加者数】

③ 39 名

④ 37 名

【概要】

1)目的

地域包括ケアとは、我々医療介護にとっては、今まで制度という規制を守ること、逆に制度や規制に守られた中で事業所の運営を行っているのではないのでしょうか。

しかし、これから5年先のことを予測することができなくなった今、私たちは何をしていかななくてはならないのか、そして何ができるのでしょうか。

国は規制緩和という自由競争へ我々の業界を変革させようと地位包括ケアシステムとい新たな仕組みを作り出そうとしています。

それぞれ、専門職も地域住民も当事者意識を持ち2025年に向かって行かなくてはとても住みにくい、暮らしにくい地域となっていくのではないかと感じています。

そこで、とても自由な発想でイベントを開催した札幌里塚病院の松永隆裕先生をお招きし講演会とワークショップを企画しました。

松永先生は地域住民へのアンケート調査を実施するなど、その発想の背景には根拠をお持ちで、イベント開催へのプロセスなど講演を通じて訴えていきたいと考えました。

2)定例会テーマ

「超高齢社会・限界都市の地域を活性化する取り組み」

3)タイムライン

【11月講演会】

18:30 ～ 本日の趣旨説明

18:35 ～ 講師紹介

18:40 ～ 講演

20:20 ～ 質疑応答

20:30 ～ 閉会

【12月講演】

- 18:30 ～ 本日の趣旨説明
- 18:35 ～ 講師紹介
- 18:40 ～ 講演
- 19:40 ～ グループワーク
- 20:10 ～ グループ発表(2G程度)
- 20:20 ～ まとめ
- 20:30 ～ 閉会

4) 定例会報告 まとめ

<グループワークの内容>

- ・今年、市民フェスティバルを実施した⇒閑古鳥が・・・
- ・洞爺→町民と専門職混合で、GWを実施(エンディングノートをテーマに)
- ・介護ブースは固定化されている。
- ・食事・・・美味しいものを知っている。食事と嚥下
- ・インパクトがうすい(介護について)
- ・人が呼べるようにスタンプラリー(楽しみながらできるように)
- ・いろんな人、他世代、世代間交流を重要視する
- ・すぐにでなくても遊び心がありながら(自分たちもわくわくしてやる)
- ・薬剤師会でもやっているが、子どもたちに白衣を着せての体験型のように
- ・健康フェア(骨密度の測定)、測定できなかった人が出てしまう問題もある。

普段やらなかったことを

- ・室蘭には、工大があるのでロボットを活用してみるとか
- ・音楽とか食事とか。第一歩食べることは楽しいこと
- ・人の垣根を超えて(人事交流とか etc)
- ・小さなことからコツコツと
- ・来てもらった人に

4) アンケート結果

- ・上記疑問はあったけど話は面白かった
- ・目からウロコ。やっぱり！おどろき！発見の出来る内容でした。

- ・次回も期待しています。
- ・松永先生のまとめ「必要」かどうか、忘れがちだけど大切！と再認識しました。
- ・コミュニケーションとコミュニティの大切さを感じた。

【総括】

この地域の課題、そして実践につなげるために、そして自分たちの地域をどのような町にするかは、誰かがやってくれるわけではないということを時間できる機会となれば・・・と考えた。アンケート結果から参加者には少しでも伝わっていたのではないかと評価する。地域住民にどのように伝えていくは、発想次第であるということと、行動することの大事さは伝えられたのではないかと。あとは実践者が出てくること・・・を願う。

4回の定例会を通しての総括

4回の定例会を通し、各回で講師の方から、関係づくりに始まり地域の現状や実際に行っている事例など、幅広いお話を聞きそれをもとにディスカッションやグループワークを行うことができた。

これらを通して、より地域と共に歩む人財が育つきっかけや、一人ひとりが「地域課題は何か」そして「自分の役割とは何か」を考え、地域の支援力を上げていくための実践者の育てあいにつながってほしいと考える。また、これからもこの活動を通して西いぶり地区の中で活発な意見の交換、より良い在宅ケアの構築・発展に当連絡会が関わって行けるようにしていきたい。

第48回・49回・50回・51回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会は、「公益財団法人 在宅医療助成 勇美財団」の助成を受けて実施しました。

第48回 西いぶり在宅ケア連絡会

ワールド・カフェ！

「腹の見える関係づくり」

～お互いの「愛しのはんかくさい」価値観を話し合おう～

日頃の業務や定例会のような研修会などを通じ「顔の見える関係」にはなってきたのでしょうか？今回はいつもと少し違った視点、『ひと・ばしょ・もの・ちいき』、『組織に入っている自分、ひとりではできないビジョン』というもののキーワードとし、今までにない価値観を話し合い、改めて腹の見える関係づくりを試してみたいと思います！

日時：8月21日(日) 14:00～17:00

受付：13:30～（会場準備の都合上、**事前申込必要**）

会場：ホテルサンルート室蘭 室蘭市中島町2-28-6

☎0143-43-2333

参加費：無料

本研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

メインキャスト

本輪西ファミリークリニック 院長 草場 鉄周 先生
西いぶり在宅ケア連絡会の会長も務める草場先生に
ぶれない価値観についてお話いただきます。



ワールド・カフェとは？

リラックスした雰囲気の中、少人数のテーブルで自由な対話を行い、テーブルメンバーの組み合わせを変えて対話を続けながら、様々な人の意見を聞くことが出来るものです。

勉強会やワークショップ、ディスカッションともひと味違ったものなので、是非お気軽に、お誘い合わせの上、ご参加下さい！



裏面あり！

【8/21(土)のスケジュール】

- 14:00～14:30 名刺交換
14:30～15:00 「ぶれない、惑わない自分の人生～価値観」
本輪西ファミリークリニック 院長 草場 鉄周 先生
15:00～15:15 会場ディスカッション
15:15～15:40 シンポジウム
15:40～16:10 ワールドカフェ
16:10～16:55 会場ディスカッション
16:55～17:00 振り返り 草場 先生コメント
16:45～17:00 全3回の振り返り
17:00 アンケート記載 閉会

【持ち物】

冒頭に名刺交換を行いますので、ご自身の名刺をお持ち下さい

【参加申込】



・会場準備の都合上、参加人数把握の為、事前申込のお願いをしています。定員に達した場合はお断りする可能性もございますので、予めご了承願います。また、席に余裕がある場合は当日参加も可能ですが、同じく定員に達している際には、当日参加もお断りさせていただきます。

<申込方法> 下記の事項を記入の上、FAXにて申込

FAX:0143-55-3000 ✕8/18(木)

西いぶり在宅ケア連絡会 事務局(本輪西ファミリークリニック内)

e-mail: zaitaku-care@hcfm.jp

氏名	所属先	主な職種

第49回 西いぶり在宅ケア連絡会

テーマ

「伊達の地域包括ケアはどうなったのか」

日時:9月26日(月) 18:30~20:30

受付:18:00~

会場:だて歴史の杜カルチャーセンター 2F 視聴覚室

伊達市松ヶ枝町34-1 電話:0142-22-1515

参加費:無料

本研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

<内 容>

18:30~ 開会・連絡会説明・参加者自己紹介

18:50~ 事例・課題情報共有

(聖ヶ丘サテライトクリニック 院長 岡本 拓也 医師)

(伊達市役所 健康福祉部 高齢福祉課 高齢者福祉係
保健師 横山 未来 氏)

19:30~ グループワーク

20:05~ 共有・まとめ、アンケート・意見回収

20:30 閉会



今月のポイント!

今年度から本格的に始動した伊達市の医療・介護連携協議会(医療部会・介護部会)の活動について状況の報告と共有を行い、今後の展望と課題を考え、顔の見える連携体制構築のため皆さんとディスカッションを行いたいと思います!

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護師連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会(室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部

第50回 西いぶり在宅ケア連絡会

2回連続シリーズ Part1

「超高齢社会・限界都市の地域を活性化する取り組み」
～専門職の覚悟と地域住民の自覚が地域を活性化する～

講演内容(予定)

～地域包括ケアという言葉から自由になってみよう！～

形ありき、縦割りの活動は限界だと思っています。夢や希望が無いからです。でも、世の中はそれで成り立っていますから、これはこれでこのまま続けて行くしか無いのでしょうか。

世の中が大きく変わって来ているのに、世の中の人と仕組みの本質は変わらない…

そろそろ、世の中の人も仕組みもパラダイムシフトの時期ではないでしょうか？

バブルが崩壊した1993年に社会に出てから、たまたま選んだ医師と言う職業の急性期医療現場最前線で、自分の目で見えて考えて実行して来たプロセスと、世の中がどう変わったのかの一考察、そして医療介護の枠に捕われない現在進行形の活動や今後の展望について、今までにない独自の観点から2回シリーズでお話しさせて頂きたいと思っています。これからのこと、一緒に考えてみませんか？(^-^)/

日時:11月21日(月) 18:30～20:30

受付:18:00～ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:むろらん広域センタービル 3階A・B会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号 ☎0143-24-9834

参加費:無料

本研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

<講師>

松永 隆裕 先生

社会医療法人蘭友会 札幌里塚病院 内科科長

医学博士 介護支援専門員 北海道フードマイスター



・1993年 札幌医科大学卒業

・手稲溪仁会病院消化器病センター、札幌厚生病院第二消化器科などを経て現任

・「超高齢社会の地域活性化を学際的に推進する会:リフレ・タウンプロジェクト」を立ち上げ、2016年8月には主催団体として「Com.Fes2016」を札幌市清田区にて開催。

超高齢化社会、地域活性化をテーマとしながら、学生がデザインを、高齢者がモデルをつとめるファッションショーなどユニークな企画で大きな反響を呼んだ。

裏面あり!

【11/21(月)のスケジュール】

18:30～ 開会・趣旨説明

18:35～ 講師紹介

18:40～ 講演

20:20～ 質疑応答

20:30 アンケート記載 閉会

【次回案内】

松永先生をお呼びしての定例会は2回連続シリーズとなっております。下記の通り実施予定とじていますので、是非合わせてご参加下さい！

2回連続シリーズ Part2

日時:12月19日(月) 18:30～20:30

受付:18:00～ (事前申込不要 当日参加OK!)

演題:イベント「Com.Fes2016」のご紹介

グループワーク:自由に考えてみよう!

会場:むろらん広域センタービル 3階A・B会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号 ☎0143-24-9834

参加費:無料

<講師>

松永 隆裕 先生

社会医療法人蘭友会 札幌里塚病院 内科科長

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護師連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会(室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部

第51回 西いぶり在宅ケア連絡会

2回連続シリーズ Part2

「超高齢社会・限界都市の地域を活性化する取り組み」
～専門職の覚悟と地域住民の自覚が地域を活性化する～

講演内容(予定)

～イベント「Com.Fes2016」のご紹介～

形ありき、縦割りの活動は限界だと思っています。夢や希望が無いからです。でも、世の中はそれで成り立っていますから、これはこれでこのまま続けて行くしか無いのでしょうか。世の中が大きく変わって来ているのに、世の中の人と仕組みの本質は変わらない…そろそろ、世の中の人も仕組みもパラダイムシフトの時期ではないでしょうか？バブルが崩壊した1993年に社会に出てから、たまたま選んだ医師と言う職業の急性期医療現場最前線で、自分の目を見て考えて実行して来たプロセスと、世の中がどう変わったのかの一考察、そして医療介護の枠に捕われない現在進行形の活動や今後の展望について、今までにない独自の観点から2回シリーズでお話しさせて頂きたいと思っています。これからのこと、一緒に考えてみませんか？(^-^)/

日時:12月19日(月) 18:30～20:30

受付:18:00～ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:むろらん広域センタービル 3階A・B会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号 ☎0143-24-9834

参加費: 無料

本研修会は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成を受けています

<講師>

松永 隆裕 先生

社会医療法人蘭友会 札幌里塚病院 内科科長

医学博士 介護支援専門員 北海道フードマイスター



・1993年 札幌医科大学卒業

・手稲溪仁会病院消化器病センター、札幌厚生病院第二消化器科などを経て現任

・「超高齢社会の地域活性化を学際的に推進する会:リフレ・タウンプロジェクト」を立ち上げ、2016年8月には主催団体として「Com.Fes2016」を札幌市清田区にて開催。

超高齢化社会、地域活性化をテーマとしながら、学生がデザインを、高齢者がモデルをつとめるファッションショーなどユニークな企画で大きな反響を呼んだ。

裏面あり!

【12/19(月)のスケジュール】

18:30～ 開会・趣旨説明

18:35～ 講師紹介

18:40～ 講演

19:40～ グループワーク

20:10～ グループワーク発表

20:20～ まとめ

20:30 アンケート記載 閉会


【前回講演資料のご案内】

先月11月21日にも松永先生をお呼びして、講演会が実施されました。その際のご講演資料を在宅ケア連絡会のホームページにアップしておりますので、今回参加を予定している方も、そうでない方も是非ご一読を！

西いぶり在宅ケア連絡会ホームページのご案内

<http://zaitakucare.org/>

西いぶり在宅ケア連絡会	Search
-------------	--------



HP内のブログ記事

**定例会開催報告 第50回「超高齢社会・限界都市の地域を活性化
する取り組み」** の中に資料を掲載しております！

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護者連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部